

一、次の文章を読んで後の設問に答えなさい。

それでも身体はなにを教えている

いつの間にか日本人は、「モデルチェンジをして年を取らなくなる、①モデルチェンジをすれば年を取らなくてすむ」という方向に進んでしまった。「美しく年を取る」とか何とか言うが、「美しく年を取る」は「あまり年を取ったように見えないように年を取る」だ。年を取ったらもう「負け組」で、いつの間にか「年を取ってアクの出た人間」というのはいなくなるようになっていく——超高齢大国なのに。もしかしたら、超高齢大国だからこそ、老いに関する②ネグレクトなのかもしれない。

Aとして「若いまま」が実現してしまったのかと言えば、なんらかの理由で「年を取る必要のない文化」が定着してしまったからだろう。私は **ア** 「年を取る」という方向にしか進んでいないので、「どうして日本には年を取る必要のない文化が定着したのか」なんてことは考えたくない。そんなことよりも重要なのは、人間は「人間は年を取った」ということを自分に認めにくくて、それと同時に「年を取った自分」に合致したスタイルが見つけないことだと思えますね。

超高齢大国の日本なので、町のあちこちで「エラソーなジーさん」を見かけることがある。昔風の頑固で偏屈なジーさんとはちょっと違う、「エラソーなジーさん」で、明らかにジトさんではあるのだ **イ**、顔にまだ若干の「若さ」を残している。「エラソー」にしているように見えるのだけれども、そんなに悪い人のようには見えない。そんな人が結構当たり前にいるのを見て、「なんかへんだな」と思った。なにが「へん」かはすぐに分からなかった **イ**、なにかがへんだとは思って、今風の「エラソーなジーさん」をちよつと考えてみた。

考えた私の答は、「当人が自分のことをあまり老人だと思っていないのではないか」だった。なんにも **B** 知らない、ただ見ただけの人の中身をアレコレ言うのもどうかとは思いますが、「エラソーなジーさん」が「エラソー」に見えるのは、「自分のことをあまり老人だと思っていないから」と考えると、納得出来る。

ジーさんがエラソーに大股を開いて、杖を両手で押さえて座っている——③もしもこの人がジーさんではなかったら、そうエラソーに見えないだろうと思った。頭が白髪ではなく黒くて、背広なんか着て杖を持っていなかったら、ただの「働くオッサン」で、「エラソーなジーさん」のようには見えないだろう——そう思っただけ見直したら、「この人は自分がもう年を取っているという自覚があまりないんだな」と思えた。

もうジーさんになって現役を引退している。だから「働くオッサン」や「オジサン」である必要がない。 **ウ**、それに代わる「自分のあり方」が見つからないから、必要もないのに体が「働くオッサン」を演じようとしている。必要もないことを演じたりするから、④ **演じ方が過剰** になって、「エラソーなジーさん」に見えてしまっただけ、実際はそんなにやな人でもエラぶった人でもないのではないかと思つた。

こないだまで若くて現役バリバリだった人が定年で現役を引退しても、すぐにはどうしたらいいのかが分からない。現役であれば、年を取っても「まだ若い」と思うことは可能だが、その足場がなくなれば、玉手箱を開けた浦島太郎のように一挙に年を取る。しかもその自覚が当人にはあまりない。

仕事偏重で来た日本の男は、「仕事をしていない間の自分」というのが「目をつぶっていてほしいような存在」でしかないから、「仕事をしていない自分」がどのような自分であればいいのかが分からない。だから仕方がない、「仕事をしている自分」を流用する——その結果、なにかが過剰になって「エラソーなジーさん」のように見えてしまう。

ずーっと背広を着て仕事人間をしていると、背広がアクを吸収してくれるから、 **⑤** 「**⑤**」というものにピンと来なくなる。「疲れやすくなったから年かな」と思っても、「まだまだ大丈夫」と否定してしまう。身体の方はいろんな形で **⑤** 「**⑤**」というものを表明しているのだけれど、頭の方は若いので **⑤** 「**⑤**」というものが受け入れられない。それを受け入れてしまうと、 **⑤** 「**⑤**」にふさわしい新しい自分のスタイルを発見しなければならぬ。むずかしいのは、「今までの自分とは違うスタイル」を発見することで、ずーっと背広やビジネススーツだけだったりとすると、 **⑥** その選択肢が見つけない。なにしろ、「他の選択肢は不用だ」で長の年月を過ごして来たから。

かく言う私だって、四十過ぎてアクだらけになる前に、「自分の体にアクが出ている、もう若くはない」ということは承知している。別に見る気もないのに、鏡や窓ガラスに映った自分を見ると、「今までに見たことがないような違う自分」がいる。つまり、アクが出たということのだが、そんな事実を突然突きつけられたって、どうしたらいいのかわからない。

エ

「もうアクは出て

るけど、なかったことにしよう。まだごまかせるから」と思っ、ないことにする。ないことにして、ある時それがしんどくなる。「アクで自分が出来上がっている」と認めた方が楽になる。人間が幼虫からアクを吐き出して蛹まごになり、その蛹の中から羽化して出て来るとオッサンになるといのは、オ若い時には認めがたい変化だが、気がつけばその通りだから、それに合わせた方が生きやすい。

「身体の声を聞く」という言い方も一時ははやったが、これだとしてもしかしたら、「身体の発する都合のいい声だけを聞く」かもしれない。「私は大人になる必要がない」というのもC身体の声なのかもしれないが、そんな声に耳を傾けたってしんどくなるだけなので、私は「年を取る」という道を選ぶのですが、「年を取る道を選ばない」という選択肢なんかは本当にあるんでしょうか？

(橋本 治 『いつまでも 若いと思うなよ』より)

問一 空白部ア～オに当てはまる言葉を次から選んで番号で答えなさい。

- | | | | |
|--------|---------|-------|--------|
| 1 たとえば | 2 とても | 3 けれど | 4 なせなら |
| 5 でも | 6 とりあえず | 7 また | 8 だから |

問二 傍線部A、B、Cについて、品詞を答えなさい。

問三 傍線部①「モデルチェンジをすれば年を取らなくてすむ」とは、どういうことでしょうか。答えなさい。

問四 傍線部②について、この場合の「ネグレクト」の意味を答えなさい。

問五 傍線部③を参考にして、「もしも……ならば……だろう」を使った短い文を完成させましょう。

問六 傍線部④「演じ方が過剰になって」について、だれのどのような様子ですか。答えなさい。

問七 ⑤に入る適切な言葉を書きなさい。

問八 傍線部⑥「その」が指し示すことがらを答えなさい。

問九 「エラーナーなジーさん」について五十文字以内にまとめなさい。

問十 筆者は本文の中で「アク」という言葉を何度も使っています。筆者の言う「アク」とは何でしょうか。答えなさい。

二、カタカナ部分を漢字で書きなさい。(送り仮名が必要な場合もあります)

- ① ヒロウカイフク
- ② コンザツヲサケル
- ③ 腕をフリアゲル
- ④ シンサツビを予約する
- ⑤ コウテイテキナ考え

三、傍線部の漢字の読みをカタカナで書きなさい。

- ① 基礎疾患がある
- ② 自慢話をする
- ③ 地域を管轄する
- ④ 後継者が不足する
- ⑤ 簡易検査を実施する

四、() に生き物に関する漢字一字を入れて、慣用句を完成させなさい。

例 一石二(鳥)

- ① 犬() の仲
- ② () の歩み
- ③ () にまたたび
- ④ 水を得た()
- ⑤ () の知らせ

作文問題

以下の題で四百字程度の文章を書きなさい

「私のストレス解消法」